

イエスにならう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分かち合うことのできる
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

コロナ禍でも、 コロナ禍だからできたこと

「活動計画を立てて実践しようとした矢先、感染は拡大の一途、活動は自粛となりましたが、支援を必要とする人がいる限り、止まってはられません。募金活動しか出来なかったけれど、多くの方が協力してくださり、活動の大切さを実感しました」

「継続して釜ヶ崎炊き出し支援の募金活動を行い、その他の募金活動を含め、一人のベトナム人青年が協力をしてくれたことに深い感銘を覚えました」

「当たり前のように思っていたことが、実は人知れない支えがあったこと、また、助けを必要としている人がどこにいるのか見えていなかったが、コロナ禍で気づかされました」

「勉強会や講演会出席、他教会との交流はできませんでしたが、教皇ベネディクト 16 世の教説集『使徒一教会の起源』、J.J. ヨルゲンセン著『アッシジのフランシスコ』などに触れ、そこから教会活動の本質が現代の社会活動と一致するものであることを改めて認識することができました」

「社会活動委員会に入っていなかったら新聞記事も素通りしていると思います。関心を持ち、意識が変わりました」

「和歌山地区ではソーシャルディスタンスを保ちながら集まる事が出来ていました。コロナ禍でご近所の方々とお話をする機会が無くなり寂しく思っていたけれど、教会で皆さんとお話しができることが唯一の楽しみだとおっしゃる方もおられました」

コロナ禍が私たちに問いかけていること

今年もありがとうございました。続くコロナ禍で活動が制限され、思うようにいかなかったといった声もありますが、立ち止まらずにできることを探し、諦めずにがんばりましょうと、歩んできた一年でした。2020 年から今年にかけていただいた社会活動委員のみなさまからの声をお届けします。

神はその力を現してくださる

シナピスセンター長 松浦 謙

今年の「すべてのいのちを守ろう」というテーマの正義と平和全国集会大阪大会は、とりわけ難民、社会の底辺に置かれた人びと、差別を受け、生きる権利を奪われている人たちの叫びを知る機会になりました。

降誕祭が近づきます。受胎告知を受けたマリアがエリザベトのもとを訪ねた時、神を崇めていました。「主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高くあげ、飢えた人を良いもので満たし、富める者を空腹のまま追いつ返されます。」(ルカ 1・51-53)

うら若きおとめであったマリアが、どれほど同胞たちの苦しみを見て心を痛め、神様の救いを待ちわびていたか、これらの言葉に良く表われています。神は苦難にある人を決して見捨てることはありません。マリアは、主のはしめである自分を神様が顧み、救い主の母として選ばれたことを感謝します。

わたしたちも、神から与えられた使命を進んで果たすことが出来るように祈りましょう。



「コロナ禍の状況下でも、できることを探しました。リモート会議もその一つです」

「自粛期間が長かったため、マスク作りをはじめ次年度のチャリティ・セールの材料ができました」

人とふれ合えないつらさ

「まさか、人との接触、交わりが制限され、こんな状況になることを想像もしていませんでした。活動が思うようにできずもどかしいです。あらためて『つながり』の大切さをますます強く感じました。今までさまざまな活動に参加していた人たちにとって、人と人のふれ合いの活動ができないのは非常に辛かったです」

「コロナ禍で自粛生活が続き、その間社会の矛盾や問題点を考えなくてはいけないと反省しました」

「一人暮らしの高齢者に（電話で訪問）ボランティアなどできたらいいのかなと思います」

みえてきた課題

「コロナ禍で困っている外国人移住者への支援が足りていないという声が上がっています」

「こどもたちの貧困が深刻です。教会で取り組む『子ども食堂』は開催できず、一部お弁当を渡すだけの実績となりましたが、子ども食堂を運営する市民団体との連携も疎遠になっていきました。食糧援助を受けている世帯が増えています。自治体と連携し、援助要請にこたえられる奉仕活動を検討したいと考えています」

「コロナ禍での『分断』という言葉に象徴される現象であるとともに、社会の支え手が減ってきている事が背景にある気がします」

新しい年もどうぞ、

よろしくお願いいたします。



↓ キ リ ト リ 線 (下記の破線で切り取ってご使用ください。) ↓

02 大阪		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座番号		百 十 万 千 百 十 番		金 額	
0 0 9 6 0 7		6 1 4 1 9		千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名		カトリック大阪大司教区 シナピス		料 金	
ご依頼人・通信欄		おところ・おなまえ		特殊取扱	
寄付の指定をお願いします(☑を入れて下さい)		☐ 難民移住者支援		☐ こども基金	
☐ 活動運営費		☐ 指定なし		2112 J	
該当する方は☑を付けて下さい。		☐ 匿名希望		☐ 領収証不要	
おところ・おなまえ		〒		受付局日附印	
(電話番号)		様		切取らないで郵便局にお出ください。	
裏面の注意事項をお読みください。(郵政事業庁)(私製承認大第30228号)		これより下部には何も記入しないでください。		記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。	

払込金受領証	
口座番号	0 0 9 6 0 7
加入者名	カトリック大阪大司教区 シナピス
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
ご依頼人	おなまえ
料 金	特殊取扱
受付局日附印	様

シナピスニュースのご案内

シナピスでは毎月ニュース
を発行しています。

無料

毎月の祈り、さまざまな活動の紹介や報告、集会、研修会のご案内など、盛りだくさんの内容をお届けいたします。



シナピスニュースご希望の方は、

こちらまで

TEL : 06-6942-1784

FAX : 06-6920-2203

E-mail : sinapis@osaka.catholic.jp

* ホームページ

https://sinapis.osaka.catholic.jp/

